



7 にきたつの道

道後商店街から西に向かって延びる風情に満ちた通り。石畳を敷き詰めた道の端に小川が流れており、酒蔵などもある。湯上がりの散策にも人気で、月に1回朝市も開催されている。



6 坊っちゃんカラクリ時計

道後温泉駅前の放生園にあり、道後温泉本館振興館をモデルにデザインされている。1時間おきに坊っちゃんやマドンナら小説『坊っちゃん』の登場人物、入浴客らの人形が音楽に合わせて現れる楽しい時計だ。



5 道後公園・湯築城跡

中世にこの地を治めていた河野氏が本拠地としていた湯築城跡に整備された公園。国の史跡に指定されている。
■住/松山市道後公園
■問/☎089-941-1480
※入園自由



1 道後温泉本館

休憩室利用付きなど4つの入浴コースを用意。夏目漱石ゆかりの「坊っちゃんの間」や又新殿の見学も可能。
■住/松山市道後湯之町5-6
■問/☎089-921-5141
■営/6:00~23:00 無休
(12月に1日臨時休館あり)



2 椿の湯

道後温泉街にあるもう一つの外湯。レトロな本館に対し、こちらはモダンな雰囲気と地元民に愛されている。
■住/松山市道後湯之町19-22
■問/☎089-935-6586
■営/6:30~23:00 無休
(12月に1日臨時休館あり)



3 足湯・手湯

道後温泉駅前の放生園を筆頭に、道後境界の10カ所に整備された足湯と手湯。放生園以外はホテルの敷地内にあるが、誰でも無料で利用が可能。施設によっては足湯に浸りながらカフェを楽しめるところも。



4 道後商店街

道後温泉駅と道後温泉本館を結ぶL字型の商店街で、別名「道後ハイカラ通り」。かんきつや松山銘菓など特産品を扱う土産物店が多く、趣のある喫茶店や郷土料理を味わえる飲食店など約60軒が並び。

道後温泉本館
公衆浴場で初めての重要文化財です！

2階大広間の休憩室
湯あがいにくつろげます♪

休憩室では
お茶とお菓子で一服を
器は硯部焼、天目台は輪島塗！

探訪
幸せ

湯けむりとアート探訪

「伝統」と「最先端」が織りなすおもてなし

漱石さんも子規さんも、そぞろ歩いた湯のまち道後。いい、加減。のお湯に浸り、心も体も温まったら、アートの彩られた境界をひと歩き。「伝統」と「最先端」が共存するまちの魅力を満喫。

道後温泉の歴史は、今から3000年前に遡ります。伝説によれば、空から舞い降りた白鷺が「こんこんと湧き出る湯で傷を癒していたことから発見された」とか。以来、多くの文人墨客を癒やしてきました。その温泉街のシンボルとして親しまれているのは、1894(明治27)年、道後湯之町初代町長・伊佐庭如矢の英断により、改築工事を果たした道後温泉本館です。松山生まれの俳人・正岡子規や彼の盟友である夏目漱石も足を運んだといわれています。「神の湯」、「霊の湯」の2種類の浴室、大広間や個室の休憩室、日本で唯一の皇室専用の浴室「又新殿」などを備えた立派な温泉は、

豪華絢爛の装飾美です！

In the area around Dōgo hot springs, which was visited by the great literary figure Natsume Sōseki and haiku poet Masaoka Shiki, there are many places of interest. One of the main highlights is the Dōgo Onsen Main Hall, which has been designated as an important cultural property of Japan. The art events that have been taking place in recent years in the area are also very popular.

日本最古の名湯に浸り、湯上がりに浴衣姿でアートの世界を楽しめるのは、湯のまち道後の新しい旅のスタイル。おもてなしが息づく商店街や明治の面影を残す道後温泉駅、あちこちに点在する足湯を巡り、温泉街を見守り続ける寺社をお参りするなど、心に残る旅を満喫できます。

1994(平成6)年に公衆浴場としては初めて国の重要文化財に。また2009(平成21)年にはミシュラン・グリーンガイドジャポン(観光地)で「3つ星」を獲得し、経済産業省の「近代化産業遺産」にも認定されました。そんな歴史ある湯のまちは、近年、「アートのまち」としても人気。2014(平成26)年に開催された国際芸術祭「道後オンセナー2014」を皮切りに、以降も本館や椿の湯、道後商店街、近辺の旅館やホテルでさまざまなアートイベントが開催されています。

伊佐庭如矢とは

伊予国の町医者の子として生まれ、維新後は愛媛県吏員となり、松山城を廃城から守る。その後、郡長や中学校校長、禰宜などの要職を歴任。1890(明治23)年、62歳のときに道後湯之町の初代町長に就任し、老朽化していた道後温泉本館の改築に取り組む。巨費が必要であることから、周囲から大きな反対を受けたが、自らの報酬を返上し、地道に反対派の説得を続け、今の形に改築する。また観光客の誘致を目的に道後鉄道を敷設。道後温泉繁栄の基礎を築いた。



アート作品で彩られた道後温泉本館



道後アートプロジェクト
松波 雄大さん

アートを手段として
道後が一つに

道後の将来について「何かをしなれば」という地元住民の思いが、道後のアートを生み出しました。あくまでもアートは手段の一つ。話題になるにつれ、新たな可能性や問題点も見えてきました。何より、道後に関わる市民が心を一つにし、まちのために行動する機運が高まったのが最大の収穫。これからも道後ファン拡大のために、みんなで取り組んでいきたいですね。

コラム
Column
ここがいい、加減。